

ひまわりこどもクラブ 安全計画

<令和6年度>

	入会前	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
安全点検	●入会前説明会で、安全計画について説明し、保護者と連携をお願いする。	●施設内自主点検	●施設内自主点検	●施設内自主点検	●施設内自主点検 ●マニュアルの見直し	●施設内自主点検	●施設内自主点検	●施設内自主点検	●施設内自主点検 ●マニュアルの見直し	●施設内自主点検	●施設内自主点検	●施設内自主点検	●施設内自主点検
安全指導		●バス送迎マニュアル確認。 →3/30実施 ●バス乗車降車確認	●怪我をしない、怪我をした時の対応について	●夏の過ごし方(暑さから身を守る対応)について		●交通安全教室				●冬の過ごし方(寒さから身を守る対応)について	●怪我をしない、怪我をした時の対応について		
多世代共存の安全指導		●高齢者の特徴について話す→4/7実施 ・やさしい声で話す。後ろから大声で話すことはしない。 ・歩く方、車椅子の方、歩行器を使う方、いろいろな方がいる。 ・走ってぶつかると大怪我に繋がるため走らない。	●クラブ内のルール→5/15実施 1.フロアは走らない 2.量は学習スペース 3.すすんであいさつ 4.廊下には行かない 5.靴は揃えて脱ぐ 6.使ったものは元に戻す 7.物を大切に 8.丁寧な言葉使い	上記内容 ・下校後の待機場所について確認。学校内で待機可能。状況を見て対応する。 ・フロア内日差し強い為、カーテン等で調節する。 ・水分摂取の声かけをしていく。	●高齢者の特徴について話し合う。 ●一緒に過ごす高齢者の方々に挨拶をしながら、高齢者の特徴を知る ●クラブ内でのルールを確認する。			●高齢者の特徴について話し合う。 ●一緒に過ごす高齢者の方々に挨拶をしながら、高齢者の特徴を知る ●クラブ内でのルールを確認する。			●高齢者の特徴について話し合う。 ●一緒に過ごす高齢者の方々に挨拶をしながら、高齢者の特徴を知る ●クラブ内でのルールを確認する。		
多世代共存のルール	<p>■ 高齢者(障害のある方)・児童・障害のある児童・皆が地域社会で、それぞれの特徴を認めながら生活していく基礎を日常生活の中で体得することをねらいとし、高齢者との日常的な交流を行う。</p> <p>■ 高齢者の特徴を知ること、〇〇さんの個性を知ること、〇〇さんとの生活の仕方を知ることを見守り確認し合う。</p> <p>■ 共存のルールを決める(児童から出たアイデア・意見を取り入れ作成するが、あらかじめ作成しておき、児童のアイデアを追加する) <共存のルール>①走らない。②高齢者に話かけるときは、後ろから話しかけない・大きな声で急に話しかけない。③食べ物もらわない。(もらった場合は、必ずその場で食べずに職員に伝える)</p>												
避難訓練					●防犯訓練	●日中想定避難訓練				●日中想定避難訓練			
研修	●不適切保育研修会の実施 全マニュアルの確認		●ヒヤリハット再発防止研修の実施	●ヒヤリハット再発防止研修の実施	●人権擁護のためのセルフチェック実施	●不適切保育研修会の実施 ●全マニュアルの確認	●児童期のメンタルヘルスについて研修の実施	●ヒヤリハット再発防止研修の実施	●ヒヤリハット再発防止研修の実施	●ヒヤリハット再発防止研修の実施	●ヒヤリハット再発防止研修の実施	●ヒヤリハット再発防止研修の実施	●ヒヤリハット再発防止研修の実施

■ 各研修会は、途中採用者や研修当日欠席した職員のため、動画撮影を行い、全職員が必ず受講できるよう準備する。

■ 施設内自主点検は、自主点検表により点検し、点検時に不具合が確認できた場合は、すぐに再点検および修理・改善を行う。

■ 事故発生時には、事故原因や対策をただちに検討する。